

小呂野通信

令和6年9月号 (第41号)

発行日 2024.9.12(木)

〒041-0806

函館市美原5丁目31番10号



(2024.9.3撮影 友人が送ってくれた函館山からの一枚。眺めつつしみじみこの街を想う今日このごろ)

朝夕には心地よい秋風が吹き抜けるようになりましたが、日中の厳しい暑さは今しばらく続く予想が出されています。みなさん体調等崩されることなくお過ごしですか。

さて、世界共通の直近の話題と言えば、2024パリオリンピック・パラリンピック開催でしょうか。函館においては、年齢・性別・障がいの有無に関係なく、同じフィールドで楽しめるモルックの19回目となる世界大会が、ヨーロッパ以外の地で初開催。連日紙面を賑わせていました。そして名探偵コナン。こちらは劇場版の舞台が函館とのこと。聖地巡礼に沸く大観光都市、経済効果は絶大と報道されていました。

さまざまなイベント、明るいニュースの裏側には、知りたくないでは済まされない、いくつもの現実があります。貧困、難民などの社会問題。紛争やテロなどの政治的問題。函館市民にとって身近でタイムリーなものと言えば、ガの幼虫大量発生という環境問題があげられるのではないのでしょうか。事務所へ向かう学園通りの八重桜も、例外なく食い荒らされ、産み付けられた幼虫がピッシリ。

「思わず顔を背けたくなる。」「殺虫剤で退治する。」は、根本的な解決にはなりません。発生の一因には、温暖化があげられています。手遅れだと言って何もしないのではなく、これ以上の温暖化を防ぐ、抑える策を知り、できることは何か考え、行動する。それが、私たちに求められていること、示すべき姿であると感じています。

2大会連続で五輪に出場したとある選手は、「東京は無観客試合でのメダルだった。パリは結果がどうであれ、多くの声援が何よりも幸せであった。」と話していたのが印象的でした。

自分都合に自由気ままよりも、周囲を巻き込むことや、他者の協力を得ることは簡単ではありません。それでも、誰かと共に事を成すことは、自分一人でできたことよりも、ずっと喜びがあります。一筋縄でいかなくとも、そういうチャレンジは買ってでもしていく精神を持ち続けたいと思っています。

去る9月1日は防災の日でした。災害への備えだけでなく、あらゆることに対応できる知識を備え、個人の悩みを社会につなぐ取り組みを！振り返ると誰もいなかったなどと理事長は冗談交じりに時々話しますが、Don't think! Feel.秋もアツイ実践を重ねていきます。

副理事長 小西 真帆

R6.5/30 以降参加活動報告 🧑🏫

毎週(月) 教育大学函館校 SW 基盤と専門職

毎週(水) 函館高专 SSW

6/6(木) 法人内勉強会 障がい者の権利条約

6/10(月) 小呂野通信発行

6/13(木) 第1回小呂野塾 映画『典子は今』

6/20(木) ばあとなあ運営委員会

6/27(木) 第2回小呂野塾

『改正精神保健福祉法と権利擁護』

7/5(金) カウンセラー講座社会福祉入門

7/11(木) 第3回小呂野塾 映像『薬禍の歳月』

7/19(金) 地域における身元保証問題等現状について関係者と協議(問題共有)

7/22(月) 第69回成年後見事例検討会

7/25(木) 第4回小呂野塾『みんなで夏を乗り切ろう』

7/28(日) 第20回NPOまつり

7/31(水) 地域生活定着支援センター会議

8/7(水) 司法と福祉の連携勉強会

8/25(日) 北海道社会福祉士会「司法福祉と連携」講師
ソーシャルワークの視点～支援の実際～

8/30(金) 第5回小呂野塾 講演『税制からみた暮らし』

帰る家があること。「ただいま」「おかえり」と言う相手がいること。蛇口をひねると水が出ること。ごはんが食べられること。きこえる事や、みえる事。

当たり前だと思っているたくさんのご事は、実は当たり前ではないことばかり。

ふつうのくらしとは？健康とは？意識し出すと、考えることがいっぱいです。「感じること」ができることも、実は当たり前ではありません。

7/19 この間取り組んでいる身元保証問題等の現状について、関係機関と話し合う機会を持ちました。

改めて、それぞれの暮らしに無関心にならず、誰もが安心して暮らすことのできるつながりの構築や、この問題がこの地域のみならず、社会的に差し迫った課題であるという認識を持つことができました。

これからも、すべての人が安心して暮らすことができる地域づくり、システムづくりに努めます。

みなさんにとっての、シアワセってなんですか？

小呂野塾 🌸

コロナの影響でストップしていた小呂野塾ですが、今年度は挑戦の年。毎月第2、第4木曜夜を基本に、小さな規模でも継続開催。丁度第5回を終えたところです。

・『薬害について』学んだ第1回第3回では、サリドマイド被害の実態を知ることを取り上げ、どうすれば薬害を防げるか考え、薬害が起きない社会の仕組みづくりに加え、被害当事者のいまだから生じる新たな被害、当事者の葛藤について意見を出し合いました。

・少し規模を広げて取り組んだ第2回では、『改正精神保健福祉法と権利擁護』と題し、医療現場で活躍されているソーシャルワーカーさんとディスカッションを行い、医療保護入院の期間の法制化、地域生活への移行促進など精神保健福祉法の改正ポイントや、現場でどう権利擁護に取り組んでいるのか。人が生まれながらに持つ権利、そして人間らしく生きる権利について参加者のみなさんと考える時間を持ちました。

・『税制からみた暮らし』と題した直近の小呂野塾では、所得が少ない人ほど負担が大きくなっている現状に、改めてその仕組みのナゾとなぜを問う時間となりました。

・『みんなで夏を乗り切ろう』ではギンギンに冷えたスイカを頬張り、落語の奥深さ、ことばで伝えることの難しさ、面白さを再認識。おかげ様で、この夏の暑さを乗り切れそうです。

映画や読書、落語まで幅広いテーマで開催しています。楽しみながら学び、感性を刺激する機会に、是非ご参加ください！

★以下第2回小呂野塾にてパネリストを担われた渡辺病院の佐久間裕氏より寄せられた塾に参加しての感想です

「一番の驚きは精神保健福祉法について知らなかったという方が多かった事。ただ、一方で知らないからこそ精神保健分野に関心があり多くの方が参加したのだとも思いました。精神保健福祉士として正直これはチャンスではないかと感じました。市民に向けた学習会という開かれた形は非常に参考になり、自分たちが今後どうしていかなくてはいけないのかという事を改めて考えるきっかけになりました。」

※第7回については、9/27(金) 予定です



第2回小呂野塾 会場は亀田交流プラザにて



2024 年度🔔

早いもので今年度の活動が下半期を迎えようとしています。

前回通信発行後には早速、会費を納めていただき感謝申し上げます。

法人の活動に賛同をいただき、新たに4名会員が増え、益々パワーアップの小呂野です。

“なにかがヘン。”を問いながら、社会課題解決に向け、みなさんと一緒に解決のヒントを探り、未来を創っていきたくと考えています。

私たちの実践は、知識と技術だけではなく、前に進めるパワーもやはり、重要です。

引き続き、活動へのご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO まつり🏠

昨年につづき 7/28(日)函館市地域交流まちづくりセンターで開催された第20回NPOまつりに参加しました。

前回は小さな本屋📖をテーマに、法人活動の紹介と併せたカタチでの交流の機会としましたが、今回は食器や衣類など、日常使いができるモノから、飾って暮らしを彩るモノまで、みなさんの暮らしとつながるマルシェをテーマとしました。

来場された方が手に取り、楽しそうに選ぶ姿。そこから広がる会話に元気をもらいました。

売上は寄付金含め 2,900 円！

有効に活用させていただきます。

NPO まつりでは、他団体の活動を知る機会でもあり、思考を凝らした様々な取り組みから刺激をもらいます。久々の嬉しい再会で積もる話に華をさかせるスタッフの姿もありました。

来年のテーマは何にしようか。

…お楽しみに！



NPO まつり展示ポスター

9月だっつて言うのにこの暑さ…
ひまわりからも、日照りキツイなあ
なんかヘン！
という声が聞こえてきます…

🌀塵も積もればプロジェクト

「物価高はいつころまで続くのかな…」「節約のために、夜もギリギリまで電気はつけません…」

お手伝いしている方々から、そんな内容の電話を受けることが増えてきました。

“景気は持ち直している” “イベント開催による経済の波及効果”

そんな言葉が踊る新聞記事。読みながら感じる “なんかヘン”。

そんな状況の中でも、吹き出す汗と格闘しながら、湯がいたトウモロコシが「ビックリするほど甘かった！」こと。近所の人が「暑いですね！」と声を掛けてくれたことなど、暮らしの中で出会ったシアワセを、嬉しそうに私たちに話してくれる姿があります。

差別・貧困・抑圧・排除を見逃さず、それぞれの暮らしに関心を持ち、この現実はどう立ち向かうか。どうやったら解決できるのかを、この間考えてきました。

私たちがまず目を向けたのが、自分たちの暮らしの見直しでした。見えてきたのは、“もったいない”ことをたくさんしている…という気づき。

そこで…

『塵も積もればプロジェクト』を考えました。スタッフ、会員さん、HP を見てくださっている皆さんから、“眠っているけど、まだ使えそうなモノ” “使わないような古切手” などの寄付をいただき、必要な方に役立てたり、課題解決の糸口にしていきたくと考えています。

アイデア含め、応援、ご協力をお願いいたします！

千里の道も一歩から🌱

スタッフ一同

揺れる想い

さんぼ道、お腹を向けひっくり返っている蝉一匹。持ち上げるとジジジーっ！と力強くバタつき生きているゾ！をらしくアピール。

でも、飛んでいくちからはないうで…しばらく手に乗せ観察したのち、日陰の木の根元へ。

ぐるっと公園を一周し再びその道へ戻るとまた同じように道の上にひっくり返っている姿あり。

手出し無用だと言っていたのか。助けてくれよと言っていたのか。

今度はなにもせず、後ろ髪引かれる思いでその場を立ち去りました。

日頃の実践場面同様向き合ったものの「意思」について考えさせられたできごとでした。



猛暑の救世主しそジュース！

秋の訪れを告げる植物

リンドウの花。かつて秋の訪れだった花がいつしか、夏の終わりになったよと友人がなげいていました。

温暖化の影響で変わりゆく日本の四季と、その影響については、時々報道されており、皆さん一様に感じておられると思います。

ポーっとしていると静かに通りすぎてしまう秋。つつましく、美しい季節を見逃さぬように、小さく感じる環境の変化に敏感でありたいと思います。

読書、食欲、スポーツの秋。みなさんが連想する秋といえばなんですか？

是非おしえてください！

清流のクライマー

みなさんはハゼの岩登りをみたことがありますか？

ある朝ニュースで取り上げられており、その姿に感銘を受けて以来、毎朝 Youtube で観ています。

腹ビレと口の吸盤で見事に岩に吸い付き、少しずつ…本当に少しずつ上流を目指します。時には流されていく者もいます。

ひたむきな姿、そしてみなぎる闘志を感じます。

生きることは容易ではありませんが、観ると大切な何か呼び起こされる感覚があります。

ハゼにならないネバギブアップで前進していきます。



しまちゃんのひとりごと

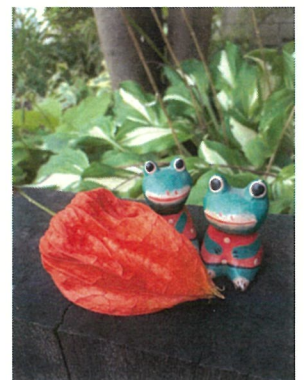
暑いですね。お散歩の時間も上手に選ぶ毎日です。

人には皮膚に汗腺というのがあって、汗をかくことで体温調節をすることができますと聞きました。

わたしたち犬の皮膚には汗腺がないので、代わりに口を開けて呼吸することで、体温を調整しています。肉球にのみ汗腺がありますが、体温調節には影響しないと言われています。

ご主人は最近、“炭鉱のカナリア”とか、“ミネルヴァのふくろう”とか、鳥のお友達のことを話しているので、鳥たちの体温調節について調べてみようと思います。

しま



編集後記

先日後見制度でお手伝いしている方が買い物中に体調を崩し救急搬送。搬送先の医療機関の担当者と必要な情報の共有をはかりました。

無事回復し自宅に戻った後、「初めましてじゃないみたいに接してもらって、それだけで安心できた！」と満面の笑み。

つながりや安心がもたらすパワーを感じました！



〒041-0806

函館市美原 5 丁目 31-10

TEL 0138-83-8471

FAX 0138-83-8472

MAIL simasakura1@gmail.com

特定非営利活動法人 小呂野

ゆあさ社会福祉士事務所

湯浅 弥 湯浅 留美

湯浅 しま 高橋 鑑一

小西 真帆 前川 智也

藤山けやき 宇美 隆浩